

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法
科目コード:140004

成人・老年看護方法論演習Ⅱ Practice:Adult and Gerontological Nursing Ⅱ

担当教員	北村言、中道淳子、大橋史弥、近藤孝朗、紺家千津子、臺美佐子、松本勝、松本智里、大西陽子、額奈々、今方裕子、瀧澤理穂、				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	老年期、回復期、慢性期、介護保険施設、看護展開				
学習目的・目標	[目的] 老年期の患者の健康状態のアセスメント、看護計画の立案・実施に必要な知識・技術を習得し、看護過程が展開できる力を養う。 [目標] 1. パーパレイシエントの情報から看護に必要な情報を捉え、それらを関連付けて対象の全体像を描くことができる。 2. 対象高齢者の強みを捉え、看護ケアを考えることができる。 3. 高齢者ケアで必要となることが多い看護技術について実施することができる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	脳血管障害後遺症を有する高齢者への看護 【看護過程の展開】情報整理、関連図作成、計画立案				
3-4	脳血管障害後遺症を有する高齢者への看護 【看護過程の展開】発表 【講義】移動・移乗動作の援助、褥瘡リスクアセスメント・予防ケア				
5-6	脳血管障害後遺症を有する高齢者への看護 【演習】移動・移乗動作の援助、褥瘡リスクアセスメント・予防ケア				
7-8	認知症があり介護保険施設で療養する高齢者への看護 【看護過程の展開】情報整理、関連図作成、計画立案				
9-10	認知症があり介護保険施設で療養する高齢者への看護 【看護過程の展開】発表 【講義】プロセスレコード				
11-12	認知症があり介護保険施設で療養する高齢者への看護: 【演習】認知機能障害への非薬物療法、プロセスレコード				
13-14	技術試験／レポート				
15	【講義】高齢患者の在宅・施設での療養への移行支援				
教科書	老年看護学概論(改訂第4版)、南江堂、老年看護学技術(改訂第4版)、南江堂				
参考図書等					
評価指標	技術試験(30%)、レポート(70%) *講義、グループワークの時間数の2/3以上の出席がなければ、試験は受験できず、評価の対象にはならない。 *授業態度において、遅刻等の場合、減点の対象とする。 *レポート提出締め切りは、授業最終日の2週間後とする。				
関連科目	本科目の履修条件は、基本的に成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位認定されていることとする。 関連科目:成人看護学概論、老年看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅲ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学／演習、代謝と栄養、疾病・障害論Ⅰ～ⅡC、フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ、薬理学など				
教員から学生へのメッセージ	グループワークや演習が中心の授業です。積極的に参加し、受講学生同士でお互いに学びを高めあっていきましょう。				